

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 災害歯科保健医療提供体制推進事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係

電話番号：058-272-1111 (内3283)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,000 千円 (前年度予算額： 1,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,000	0	0	0	0	0	1,000	0	0
要求額	1,000	0	0	0	0	0	1,000	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・(公社)日本歯科医師会と厚生労働省が連携し「JDAT(日本災害支援チーム)」を発足し、各都道府県歯科医師会に行政と連携した「JDAT」の編制が求められている。
- ・「岐阜県地域防災計画(一般計画)」において、県は医療救護体制を確立し、医療救護活動に万全を期すため、医療機関の協力の下に、災害時の医療救護体制等を規定した計画を策定また、県は医療関係団体が災害時に備えて行う人材育成等の活動に対して、協力等を行うことを規定

(2) 事業内容

補助先：岐阜県歯科医師会

①災害時歯科保健医療救護班養成研修

目的：歯科保健医療救護班の一員となれる人材を育成

研修内容：日本歯科医師会の災害歯科保健医療提供体制研修会の事前研修を受講した

対象者に対して、研修と災害を想定した演習を実施する。

研修対象者：歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 行政

②災害時歯科保健医療体制アドバンス研修

目的：被災地で実動できる歯科保健医療救護班の人材を育成

研修内容：実際の災害を想定した想定訓練を実施する。

研修対象者：①の研修受講修了者

※①②の研修修了者を岐阜県JDAT登録員として登録。

（３）県負担・補助率の考え方

- ・医療介護総合確保推進法に基づく県計画において、負担率10/10の事業として計上。

（４）類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,000	災害時歯科保健医療救護班養成研修並びに災害時歯科保健医療体制アドバンス研修の開催に対する助成
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

- ・「岐阜県地域防災計画（一般計画）」において、県は医療救護体制を確立し、医療救護活動に万全を期すため、医療機関の協力の下に、災害時の医療救護体制等を規定した計画を策定また、県は医療関係団体が災害時に備えて行う人材育成等の活動に対して、協力等を行うことを規定
- ・「岐阜県地震災害等医療救護計画」に岐阜県歯科医師会は「歯科医療救護班」の派遣に協力することを規定
- ・「岐阜県災害対策マニュアル」に災害対策本部は県歯科医師会に「歯科医療救護班」による活動を要請することを規定。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

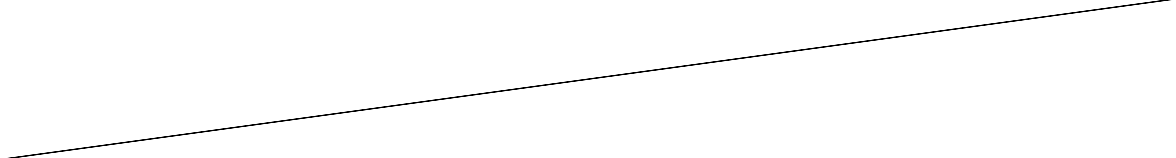
- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・災害時に県及び県歯科医師会からの要請を受けて対応できる歯科医師、歯科衛生士を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①研修目標人数 168名×3年間	0	32	168	336	504名	46.4%
②研修目標人数 40名×3年間	0	55	40	80	120名	180%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	 <p>指標① 目標： 実績： 達成率： %</p>
令和5年度	<p>○災害歯科保健医療研修会 1回 受講者73名 ○災害歯科保健医療研修会（アドバンスコース） 1回 受講者72名 災害時に歯科保健医療の提供が実施できるよう基本的知識、支援方法を習得したうえで、アドバンスコースを受講することで、より実際の災害時に活動できる人材の育成をすることができる。</p> <p>指標① 目標： 168 実績： 73 達成率： 46.4 % 指標② 目標： 40 実績： 72 達成率： 180 %</p>
令和6年度	<p>○災害歯科保健医療研修会 1回 受講者32名 ○災害歯科保健医療研修会（アドバンスコース） 1回 受講者55名 災害時に歯科保健医療の提供が実施できるよう基本的知識、支援方法を習得したうえで、アドバンスコースを受講することで、より実際の災害時に活動できる人材の育成をすることができる。</p> <p>指標① 目標： 168 実績： 32 達成率： 19 % 指標② 目標： 40 実績： 55 達成率： 137.5 %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	災害の発生頻度が高くなっていることから、災害時に歯科保健医療を提供できる人材の確保・養成についての必要性が増している。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	基本的な知識や役割と支援方法を習得したうえで、更にアドバンスコースを受講することで、より実際の災害を想定した訓練を実施することができる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	災害発生時に必要となる歯科保健医療を指示する歯科医師と被災者に対応する歯科衛生士を対象に研修会を実施することで災害時に対応できる人材を効果的に養成することができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和5年度の受講者は大多数が歯科医師であった。今後は歯科衛生士の受講を増やしていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も実際の災害発生時に歯科保健医療を提供できる人材の確保・養成および資質向上を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	
--	--